

側条プロベナゾール顆粒水和剤48%（側条オリゼメート顆粒水和剤）のペースト肥料混和側条施用による葉いもちの防除

農業センター

1 取り上げた理由

農業従事者の高齢化やほ場の大区画化に伴い、ほ場に入らない防除法の開発が望まれている。そこで、移植、施肥、防除を同時に行う側条施用によるいもち病の防除効果について検討したところ成果が得られたので参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 側条オリゼメート顆粒水和剤500gを同重量の水に入れて攪拌し、これをペースト肥料（10a 施用量）に均一になるように加えて、側条施用田植機で施用する。
- 2) 本剤の移植同時側条施用（500g/10a）は、オリゼメート粒剤の水面施用（3kg/10a）と同等かそれ以上の葉いもち防除効果が認められる。
- 3) 本剤の移植同時側条施用は移植、施肥、防除作業を同時に行うことができるため、省力的である。

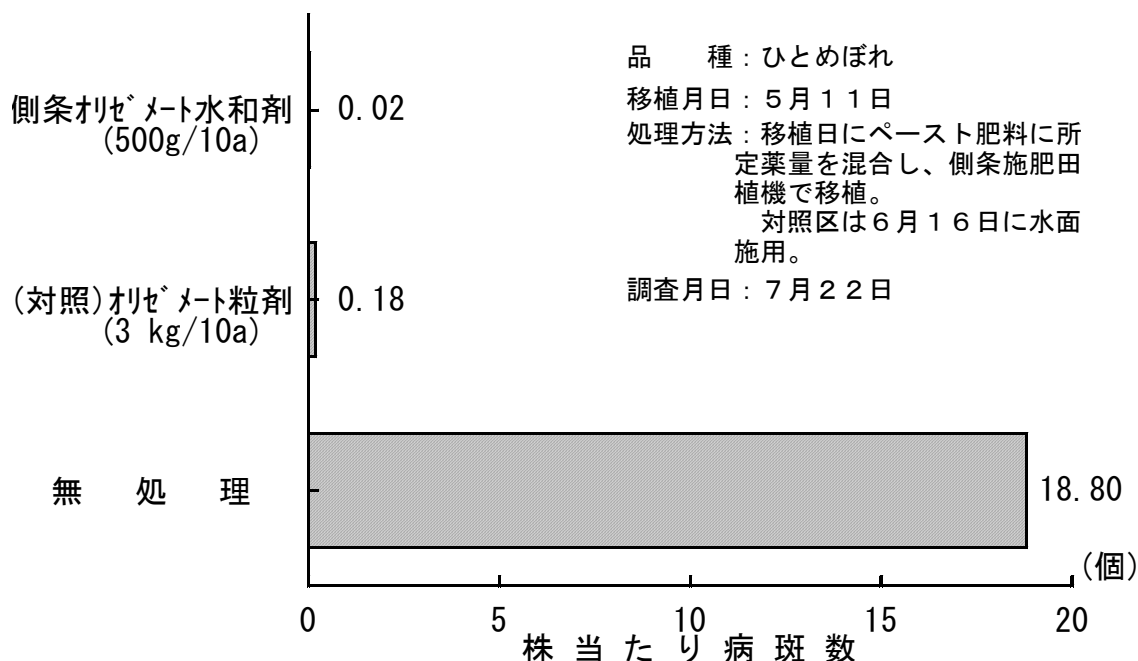


図1 側条プロベナゾール顆粒水和剤の葉いもちに対する防除効果（平成10年）

3 利活用の留意点

- 1) 薬剤と肥料の調合は移植当日に行い、調合したものはその日のうちに使用する。

問い合わせ先：農業センター作物保護部 電話022-383-8125

#### 4 背景となった主要な研究成果

##### 1) 研究課題名及び研究期間

病害発生要因の究明と防除法の検討（平成9年～10年度）

##### 2) 参考データ

###### a 特性

ア 有効成分：プロベナゾール48.0%

イ 性状：顆粒状

ウ 安全性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類

エ 安全使用基準

作物名	適用 病害名	10a当たり 使用量	使用時期	使用方法
稲	いもち病	500g	移植時	側条施用

###### b 試験データ

表1 側条プロベナゾール顆粒水和剤の葉いもちに対する防除効果（平成10年）

試験区	7月10日		7月22日		8月10日	
	発病 株率(%)	病斑数 個/株	発病 株率(%)	病斑数 個/株	防除 価	上位2葉病斑数 個/株
側条プロベナゾール水和剤48%	1.1	0.01	1.7	0.02	99.9	0
(対)プロベナゾール粒剤 8%	4.4	0.05	16.7	0.18	99.0	0.03
無処理	67.8	1.99	100	18.80	—	1.67

実施場所：宮城農セ水田ほ場（細粒灰色低地土壌）

移植時期：5月11日

基肥：窒素 4.0kg/10a（ネーリスト2号）

追肥：窒素 1.0kg/10a

供試品種：ひとめぼれ

試験区：側条プロベナゾール顆粒水和剤48% 500g/10a ネーリスト肥料混和による移植同時側条施用

(対)プロベナゾール粒剤 8% 3kg/10a 6月16日に水面施用

無処理

（予想価格：2,300円/10a程度）